

ヘンシモ

人とひとを結ぶ本：へんしも情報 **HensimoJournal**

Kochi Prefectural Federation of Small Business Associations

3
2018
vol.204



1 Close up!ものづくり

有限会社仙頭酒造場

3 中央会だより

組合いんふおめーしょん

ものづくり担い手育成事業研修/組合運営管理セミナー開催報告

事業ればーと(高知県食品工業団地事業協同組合)

年度末決算に伴う事務手続き・留意事項について

青年部情報“雄飛”

特定退職金共済制度ご案内

組合110番

Pick Up!先進組合

平成29年度補正予算「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」公募中

協会けんぽからの保険料率改定のお知らせ

13 県内各業界別の動向・2月

人を継ぎ、組織を育む

高知県中小企業団体中央会

有限会社 仙頭酒造場

Close up! ものづくり補助金採択企業の取り組み紹介

ものづくり技術：一般型

製造環境

設備投資のみ

新ブランドの構築及び新顧客を獲得する為のオリジナル生産設備の拡充

◎事業計画概要

革新的な日本酒である新ブランド“美潮(みしお)”のシリーズ化を実現し、増産及び新顧客を獲得する為、本補助事業で、2.5KL開放型クーリングタンク一式及び清酒加熱殺菌装置一式の2機種を導入する。これにより、従業員の所得向上・地産外商にも繋げていく。

取組みの経緯

当社は日本酒、焼酎、リキュールの製造を行っており、日本酒が全体の生産量の約84%を占め、「土佐しらぎく」のブランドで展開している日本酒は、年々売上を伸ばしている。中でも純米酒、吟醸酒、純米吟醸酒が好調である。

市場動向としては、原材料を米・米麴だけしか使用しない純米酒、純米吟醸酒の需要が高まり、食事と一緒に楽しむ「食中酒」として海外でも人気を集めている。

当社では、数年前から酒類は好むが日本酒になじみのない20代～40代の女性にターゲットを絞り、果実味のあるワインのような熟成感のある日本酒の開発を手がけてきた。そして、フルーティーで飲みやすく、革新的な甘口に仕上げた「美潮(みしお)純米吟醸酒」が誕生し、2014年にテスト販売を行ったところ非常に高い評価を得た。特徴的な味わいに加え、目を引く個性的なラベルも好評を博し、取引先など各方面から強い増産の要望を受けた。主力商品である「土佐しらぎく」と両輪を成す新しい酒のブランドとして確立し、アイテムを増やしてシリーズ化を図ることとした。

原料の酒米によってシリーズ展開を図る「美潮」は、平成27年に特徴的な味わいの「雄町」と高知県産の「吟の夢」の2アイテムを発売し、さらに開発を進め4アイテムに増やし、生産量を初年度の約2.5倍に増産する5ヵ年計画を策定した。一方、「土佐しらぎく」の増産も計画しており、既存の設備では生産量が及ばないこと、加熱殺菌装置の老朽化により品質管理に問題が生じていることから、2.5KL開放型クーリングタンクと清酒加熱殺菌装置を導入し、増産体制の整備を図ることとした。

実施内容

① 2.5KL 開放型クーリングタンク(2基)

自動温度調節が可能な、冷却機能付きのタンク。当社の製造環境に合う小型タンクで、フタのない混ぜやすい形を選んだ。1本あたり、最大1.6KLの日本酒が製造できる。



② 清酒加熱殺菌装置

プレートヒーターを使用し、流量の増減に合わせて自動温度調節が可能。

取組みの成果

1. 増産

日本酒の製造は、気温の低い冬期が適しており、効率よく品質の高い酒ができる。当社では、冬期を中心に10月から4月までの7ヵ月間で、11本のタンクを4サイクル可動させ、1年半分の量を製造している。「土佐しらぎく」の販売が好調であることに加え、新たな「美潮」ブランドを増産するためには、タンクが不足していた。

本事業により2.5KL開放型クーリングタンク2基を導入したことで、8本分(2本×4サイクル)の12.8KLの増産が可能となった。

2. 独自の味わいを実現

「美潮」は、低温でモロミを管理し、通常よりもモロミ期間を長くすることで生まれるフルーティーで蜜のような上品な甘さが特徴である。温度管理ができるクーリングタンクにより低温でじっくりと醸造し、独自の味わいを実現した。

高知の酵母を使用した「土佐の酒」でありながら、土佐酒の主流である淡麗辛口とは一線を画す独自性の高い商品となった。



3. 品質の向上と安定

日本酒には加熱殺菌をして出荷する「火入れの酒」と、搾ったままの状態出荷する「生酒」がある。「美潮」は年間通じて販売するため「火入れ」をして出荷する製品である。酒は温度によって味わいに影響を受けやすい為、火入れは大変デリケートな作業です。

有限会社 仙頭酒造場

所在地：〒781-5701 高知県安芸郡芸西村和食甲1551

T E L : 0887-33-2611

E-mail : tosa-shiragiku@abeam.ocn.ne.jp

U R L : <http://www.tosashiragiku.com/>

設 立 : 1953年(昭和28年)10月27日 ※創業1903年(明治36年)

従業員数 : 8名 資本金 / 760万円

◎ 企業概要

1903年(明治36年)創業の、酒類製造販売業者。日本酒、焼酎、リキュールを製造しており、日本酒「土佐しらぎく」は創業時から続くメインブランド。日本酒の魅力を次世代へ継ぐ。



代表取締役 仙頭 美紀氏

従来の清酒加熱殺菌装置は、細い蛇管に日本酒を通し約62度で加熱殺菌を行うもので、温度を手動で調節していた。酒の流量により温度が変わりやすく、流量が増えて管内の酒の流れが悪くなると熱が入りすぎる場合があり、品質にムラがあった。

本事業で導入したプレートヒーター式の清酒加熱殺菌装置は、流量の増減により自動で温度調節ができるため、一定の温度で火入れすることが可能で、生産効率もアップした。また、火入れをするタイミングを間違えると味わいがガラリと変わるため、適切なタイミングで火入れを行う必要がある。

日本酒を搾る時期には火入れの作業が込み合うため、遅れが生じる懸念があったが、本機の導入によりタイミングを逸することがなくなった。

火入れの温度とタイミングを万全に整えることで、品質の向上・安定化が可能になった。「美潮」の味わいもより繊細に仕上がった。

2種の機械を用いたオリジナルの生産設備により、当社の日本酒の品質は格段に向上し、革新的な日本酒「美潮」シリーズの2アイテムを製品化し、新ブランドを確立した。

「雄町」「吟の夢」に続き、平成29年に北海道の酒米「きたしづく」を使った新商品を発売した。シリーズ3品は市場でも高い評価を受けている。

清酒加熱殺菌装置は、「土佐しらぎく」の生産にも使用しており、2017年に開催された日本酒品評会「SAKE COMPETITION」純米吟醸部門ではGOLDメダル(第一位)で、全米日本酒飲評会純米部門では準グランプリの成績を収めたことは、まさに本事業の成果といえる。

製品内容・販売計画



- ① 2014年 シリーズ第1弾
「美潮 純米吟醸 雄町」
- ② 2015年 シリーズ第2弾
「美潮 純米吟醸 吟の夢」



- ③ 「SAKE COMPETITION2017」
純米吟醸部門GOLDメダル(第一位)
「土佐しらぎく純米吟醸山田錦」
- ④ 「2017年全米日本酒飲評会」
純米部門準グランプリ
「土佐しらぎく斬辛 特別純米酒」

今後の活動予定・販売計画

加えて平成28年度ものづくり補助金の採択も受け、充填機・打栓機を導入し、更なる生産体制の強化を図ることができた。

「美潮」シリーズは日本酒の入口の酒としての提案力に優れ、新規顧客獲得の大きな可能性を秘めている。直接取引を行っている小売店と連携し、酒のイベントや「土佐しらぎくの会」などのファンとのふれあいの機会を増やし、さらなる顧客の獲得を図っていく。

国内での酒類の需要が減少していることから、海外への輸出を増やす方向で、既にルートのある香港・シンガポールに加え、イギリスでの販売交渉が進んでいる。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、国内外ともにさらに需要が拡大すると予想され、販路拡大に注力していく。



高知県スポーツ用品小売商協同組合

高知龍馬マラソン完走記念 タオル等を販売



高知県スポーツ用品小売商協同組合(美馬義一理事長)では、2月18日に開催された「高知龍馬マラソン2018」にて、記念スポーツタオル等の販売を行いました。

開催前日には受付会場の高知市中央公園付近で、当日はフィニッシュ会場の県立春野総合運動公園に出店ブースを設置して、両日とも天候にも恵まれ、県外からの参加ランナーなど多くの人出で賑わう中、完走ランナーに走行タイムと名前を刺繍入れた記念スポーツタオルをはじめ、オリジナルTシャツや様々なグッズ・サプリメントなどを販売して、多くのランナーの思い出作りなどに貢献しました。

大橋通り商店街振興組合

滋賀県石山商店街からの 視察を受け入れました

大橋通り商店街振興組合(鍋島勇雄理事長)では、2月18日に滋賀県大津市より石山商店街振興組合の視察を受け入れました。今回の視察は、当組合が平成18年より取り組む「わくわーくるんだ商店街」事業と石山商店街振興組合の実施する「子どもミュージアム商店街」が、地域の子供達に商店街で職業体験をしてもらうという事業の形が非常に似ていることから意見交換等を目的に実現しました。

当日は、参加企業・団体への依頼方法や、関係機関の連携体制づくり、事業資金の確保の仕方、イベント開催時の工夫など類似事業に取り組む組合同士、活発な意見交換や質疑が



交わされ、相互に今後の事業継続に有意義な交流ができました。

京町・新京橋商店街振興組合

新規チャレンジャーが出店 しています

京町・新京橋商店街振興組合(安藤浩二理事長)では、高知市内には唯一のチャレンジショップを運営しています。3月より3区画全てで新規出店者がチャレンジを開始しました。

- Riopozo: 手に取りやすい婦人服飾雑貨とハンドメイドアクセサリーを姉妹で手掛けています。
- SPICE: 高知では珍しいポップなユーズドウェア、雑貨で地元を盛り上げていきたい。
- MASACASA: L.A.直輸入雑貨、高知とL.A.の音楽シーンの今をお届けします。

また、京町・新京橋商店街でのチャレンジショップ出店に興味のある方は、是非事務局までご相談ください。

高知市はりまや町1-1-24 京町チャレンジショップ

- 営業時間 10:30~19:00
- 定休日 水曜日
- TEL 088-855-5161

京町・新京橋商店街振興組合事務局

- TEL 088-825-0787

高知県屋外広告美術協同組合

広告美術コンクールを開催

高知県屋外広告美術協同組合(岡崎勲理事長)では、2月24日に四国広告美術組合連合会の通常総会 高知大会に併せて開催した同



連合会主催の広告美術コンクール・表彰式を盛大に行いました。

当コンクールは、組合員の広告製作技術の向上・研鑽はもちろん、風致の維持といった景観の向上や開催地のPRを目的に毎年開催されているものです。今回は「志国高知 幕末維新博」をテーマに四国4県から43作品の応募があり、当日は会場



の三翠園に展示が行われ、高知県知事賞をはじめ高知県中央会会長賞など20作品が受賞しました。

掲載無料

組合いんふおめーしょんのコーナーを、組合活動のPR、イベントなどの告知にぜひご活用下さい。

中央会まで
どしどし情報をお寄せ下さい!!

土佐のおきゃく2018開催

今年も、高知市中心市街地及び周辺地域にて土佐の食と酒を堪能する「土佐のおきゃく」が開催され、各地で趣向を凝らしたイベントが行われました。本会会員組合の取組みの一部をご紹介します。

※下記は「土佐のおきゃく2018」で実施されたイベントの一部です

<土佐のお座敷体験、土佐の酒肴>

高知市旅館ホテル協同組合(宮村耕資理事長)、高知県酒造組合(竹村昭彦理事長)では合同で、3月5日(月)～10日(土)に、高知市内の旅館・ホテル(ホテルおおりや、三翠園、龍馬の宿南水、ホテル高砂、土佐御苑)にてお座敷体験イベントを開催しました。当日は高知のお酒と新鮮食材を使った土佐料理を味わいながら、「べく杯」や「菊の花」、「はし拳」、「しばてん踊り」など高知県ならではの「お座敷遊び」を体験でき、多くの参加者でにぎわいました。



<はりまや炭炭(たんたん)サロン>

はりまや橋商店街振興組合(小谷一雄理事長)では、3月9日(金)にアーケード内「わくわく広場」で炭火焼が楽しめる「はりまや炭炭サロン」を開催しました。当日は金曜日恒例の「はりまや市」も開催されており、好きな食材を調達して、その場で七輪にのせ炭火焼を心ゆくまで満喫できました。



<おびさんマルシェ>

おびさんロード商店街振興組合(大西みちる理事長)では、3月4日(日)・11日(日)11:00～21:00に、全長355mのおびさんロードでちょっぴりお洒落な食とアートの蚤の市「おびさんマルシェ」を開催しました。土佐のおきゃくとの同時開催ということで、いつも以上ににぎわいとなりました。

また、平成30年度も引き続きおびさんマルシェを開催していきますので、第2日曜日はぜひ大橋通り商店街から中央公園までの石畳がトレードマークのおびさんロードに遊びにおいでください!

《今後の開催スケジュール》

第75回：4月15日	第78回：10月14日
第76回：5月13日	第79回：11月11日
第77回：9月16日	第80回：12月9日



場 所／おびさんロード商店街全域

TEL／088-871-6527

(おびさんロード商店街振興組合)

Blog／<http://obisun.seesaa.net/>

※一部、日没閉店及び雨天中止

※出店者や開催に関する詳細はおびさんマルシェblog参照

高知県酒造組合

第18回土佐新酒の会を開催

高知県酒造組合(竹村昭彦理事長)では、4月20日(金)にザ クラウンパレス新阪急高知に於いて、毎春恒例となっている「土佐新酒の会」を開催します。

「土佐新酒の会」は、毎年4月の第3金曜日に開催されている本県内の全酒蔵(18蔵)の新酒を楽しむイベントで、各蔵元が新酒約100種類・250升を持ち寄り、参加者は蔵ごとの味わいを楽しめます。会場内では他にも「土佐のうまいものブース」にて、地域の美味しい料理が振舞われ、また、「利き酒競技」や「豪華お楽しみ抽選会」が催されます。

ご好評につき、新酒の会は全席完売しましたが、これからお酒を飲む機会にはご家族やご友人等と一緒に土佐の新酒をご堪能下さい。今年も「TOSA NAKAMA SAKE※」で「とさなかま」になりましょう!

※土佐酒のブランドイメージ。詳しくは高知県酒造組合のHPをご覧ください。



ものづくりの基盤技術強化を図る研修会等を開催

— 平成29年度ものづくり担い手育成事業 —

開催報告

工場管理者研修



県内のものづくり企業の工場長、班長、リーダーなど現場改善責任者を対象とした「工場管理者研修」(2月21日)を、本会並びに香美市土佐山田町

「株式会社山崎技研」にて開催しました。

本研修では、システム企画 代表 植村忠夫氏を講師として招聘し、「ムダ取り(原価低減)工場管理の基礎『5S』」と題してご講義いただきました。次いで、工場視察先の株式会社山崎技研にて、工場長等から企業概要・5S活動状況等について説明いただいた後、3班に分かれ工場内を視察しました。視察終了後には、前段の講義内容と工場視察を踏まえた工場の改善点等について班毎に意見交換を行い、取り纏めた内容を各班より発表した後、植村講師より講評をいただきました。発表内容の中には、自社で取り入れたいなどの意見が出される等、前向きな意見が多く、参加者にとって有意義な研修となりました。

機械加工技術者研修

県内企業で製造業に従事する方を対象とした「汎用フライス盤技術講習」(2月22日、23日)を、高知市桟橋通「高知職業能力開発促進センター」にて開催しました。

本研修では、高知職業能力開発促進センターより講師を招聘し、切削加工に関して、汎用フライス盤を使った加工方法の検討や段取り等について学び、作業員の技能向上を目指して、汎用フライス盤の操作及び作業段取りなどの基本知識を学んだ後、加工機を使用して6面体を加工する実習に取り組みました。



＜お問い合わせ先＞ 高知県中小企業団体中央会 連携推進部 TEL 088-845-8870

担当



古木健雄



小澤武史

組合運営管理セミナーを開催

本会では、去る3月8日(木)に高知市布師田「中央会研修室」にて組合運営管理セミナーを開催しました。

本セミナーは、組合運営に必要な諸手続きに関して本会職員が実務上の手順に沿って分かりやすく解説を行い、適正な組合運営管理に繋げることを目的に開催したもので、当日は組合役職員12名が参加しました。

セミナーでは、まず、特に組合運営管理面で煩雑となる通常総会開催前後の諸手続きに関して、フロー図を使って実務上の手順に沿いながら、決算関係書類作成上の注意点、監査手続き、理事会及び総会の運営、総会開催後の剰余金処理、脱退者への持分払戻し等の説明を行った後、所管行政庁への許認可申請、届出事項などについて様式集を使いながら具体的に説明しました。

参加者からは疑問点や気づいた点などについて熱心な質問が行われ、有意義な研修となりました。



平成29年度連携組織活性化支援事業（経営力向上補助金）

高知県食品工業団地事業協同組合

事業名及びテーマ **イタドリ加工品の開発及びテストマーケティング**

●背景

高知県独特の食材である『イタドリ』は、本県のほか一部の県で食用とされているものの、全国的には雑草として扱われることも多いのが現状である。

このような状況下、高知市及び高知県では、高知市鏡地域で栽培されるイタドリを特産品として売り出し産業化することで中山間地域の活性化に繋げることを目的に、平成29年度より高知県産業振興計画地域アクションプラン（高知市地域）において「イタドリの外商推進による中山間地域の振興」を追加している。

当組合は、この取り組みの中でイタドリの加工・商品開発の役割を担っており、生産者からの引き取りに関するルールの設定や加工商品の開発等を行っていくこととしている。



●事業概要

本事業では、当組合の組合員がイタドリを活用した加工品の試作開発を行い、首都圏で開催される食品展示会に出展して試作品に対する求評や市場調査を行うことで、商品化に向けたブラッシュアップを行った。

① イタドリを活用した加工品の試作開発

組合員企業に対して事前にイタドリに関する資料配布を行い、県内におけるイタドリの栽培状況や加工品の生産状況、及び展示会場におけるイタドリの反響について説明を行ったうえで、加工品の試作開発の依頼を行った。

結果、組合員3社から取り組みたいとの意向があり、イタドリの提供を行い各社が試作開発に取り組んだ。

② 事業検討会の開催

試作品の開発状況確認並びに求評を行うため、試作品を持ち寄り事業検討会を開催した。

③ スーパーマーケットトレードショーへの出展

各社が作成した試作品について、首都圏で開催された展示会「第52回スーパーマーケットトレードショー2018」に出展し、試食等を行いながら来場したバイヤーからの求評や具体的な取引に向けた商談を行った。また、併せてイタドリを紹介したリーフレットやイタドリレシピの配布を行い、イタドリ自体のPR・認知度向上に努めた。



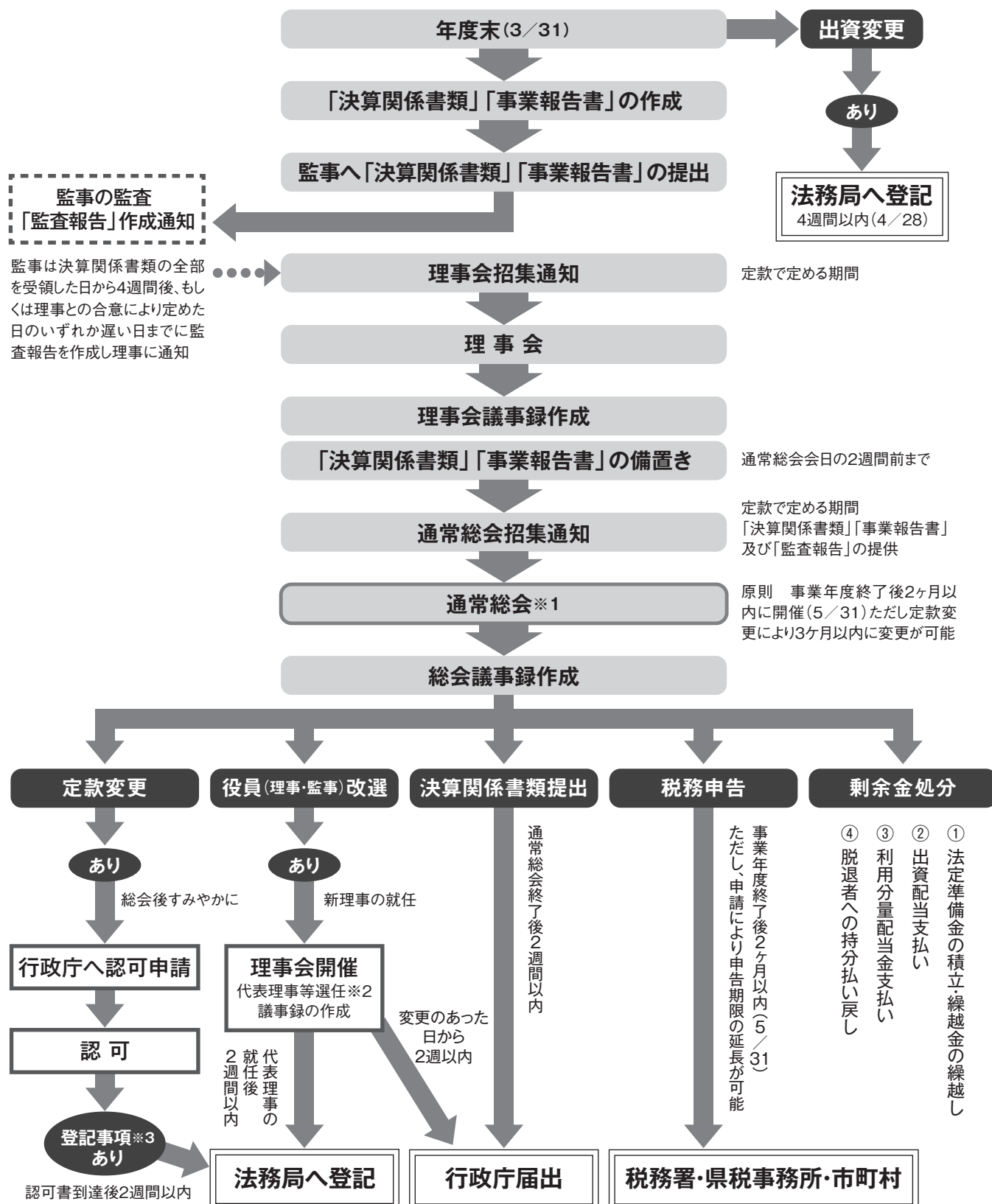
●成果及び今後の展望

本年はイタドリの生育が悪く、原料確保に苦労したため試作品の製造が当初の想定通りにいかなかった面もあるが、展示会に出展しバイヤー等から様々な意見をお聞きしたことで、今後の試作品の更なるブラッシュアップに繋がることが期待できる。また、イタドリ自体に関する関心も高く、今後高知の特産品になり得る商材であり、高知県のブランド化に向けた動きを今後も進めていく必要がある。

組合の年度末決算に伴う事務手続き

事業年度終了後における組合事務手続き処理は決算関係書類の作成に始まり、行政庁への書類届出や税務申告まで非常に煩雑となります。以下をご参考に適正な事務手続きを行って下さい。

組合決算期の事務手続きフロー（3月末決算例）



<<手続きにおける留意事項>>

※1 通常総会開催

●成立の定足数

総組合員の2分の1以上の出席

なお、出席者には書面及び代理人(委任状)による出席を含む

●総会の議長

原則として出席した組合員の中から選任

議決権(選挙権を除く)を行使することができないため、他の組合員の代理人となることはできない

●議決事項

法定議決事項	[主な事項] 定款変更、規約及び共済規定の設定・変更・廃止、毎事業年度の事業計画及び収支予算の設定・変更、経費の賦課及び徴収方法、決算関係書類の承認、役員の選挙又は選任、役員の報酬、組合員の除名、組合の解散又は合併、組織変更、組合員による役員の解任請求、組合員の出資の口数に係る限度の特例、事業の全部の譲渡、新設合併の場合における設立委員の選任
任意議決事項	定款で定める事項 (例) 借入金残高の最高限度、1組合員に対する貸付け又は1組合員のためにする債務保証の残高の最高限度など

●議決方法

特別議決(総組合員の半数以上が出席し、その議決権の3分の2以上の多数)	定款変更、組合員の除名、組合の解散又は合併、組織変更、組合員の出資口数に係る限度の特例、事業の全部の譲渡、新設合併の場合における設立委員の選任 ※協業組合には別途定めあり
普通議決(総組合員の半数以上が出席し、その議決権の過半数)	上記以外

※2 代表理事の選任

代表理事が交代した場合だけでなく、再任された時も法務局への登記が必要

※3 定款変更後に登記が必要な事項

名称、地区、事務所の所在地、公告方法、事業、出資1口の金額、出資払込の方法

▽▲決算関係書類の提出をお忘れなく▽▲

組合は毎事業年度、通常総会終了の日から2週間以内に決算関係書類を所管行政庁に提出することが法律上定められています。所管行政庁では、組合が事業活動を行っているかどうかを決算関係書類の提出の有無によって判断しており、提出を怠ると休眠組合と見なされ、解散整理の対象となります。必ず決算関係書類を提出するようにして下さい。

なお、中央会宛に2部(行政庁用1部、本会控え用1部)ご提出いただければ、本会経由で所管行政庁へ提出します。

<お問い合わせ・提出先> 高知県中小企業団体中央会
〒781-5101 高知市布師田3992-2 高知県中小企業会館4階
TEL 088-845-8870 IP電話 050-3537-1702

中央会 青年部情報

YUHI : Small and Medium Enterprises
Organization Central Meeting, Kochi



四国ブロック会長会議へ出席

高知県中小企業青年中央会では、去る2月20日(火)、徳島県徳島市にて開催された四国ブロック中小企業青年中央会会長会議に出席しました。

会には四国各県より青年中央会会長、役員及び事務局が出席し、四国ブロック青年中央会の収支状況報告や次年度の通常総会開催等について協議が行われました。また今年6月22日に徳島県で開催される全国青年中央会通常総会について、四国四県より多数の青年部会員が出席し賑やかな総会となるよう各県が協力していく旨確認が行われました。

会議終了後には懇親会も開催され、各県参加者との情報交換や懇親を深めることが出来ました。



親睦ボウリング大会を開催

本会では、去る3月3日(土)にレクリエーション事業の一環として、「親睦ボウリング大会」を高知市南宝永町「ラウンドワン高知店」にて開催しました。

当日は総勢28名(7組)が参加。団体戦や個人戦の優勝を懸けて熱戦が繰り広げられ、大いに盛り上がりました。

なお、成績は右記の通りです。

また大会終了後には表彰式を兼ねた懇親会を開催し、参加者一同、和やかな雰囲気のもと親睦・交流を深めていました。



団体戦



優勝 (協)高知機械工業団地
マインテックユース



準優勝 組合混成チーム
(フロンティア、ビルメンテナンス、管工事設備業)



第3位 高知中央電気工事業(協)青年部

個人戦



優勝 野村 さや
(協)高知機械工業団地マインテックユース



準優勝 島田 誠
(協)高知機械工業団地マインテックユース



第3位 中越 雄二
(一社)高知ビルメンテナンス協会

平成30年度

全国中小企業青年中央会 通常総会(in徳島)について 事前のご案内

全国中小企業青年中央会の通常総会が、平成30年度は四国ブロックで開催されることとなり、開催担当県となる徳島県徳島市において右記のとおり開催されます。

本会では、四国ブロック内で開催される好機を生かし、できるだけ多くの会員青年部の方々に他県青年部との交流を深めて頂きたいと考えており、ぜひ多数の方にご参加いただきたく事前のご案内を致します。

①日時

平成30年 6月22日(金)
14時から(予定)

②場所

JRホテルクレメント徳島
(徳島県徳島市寺島本町西1丁目61番地)

③内容

- (1)通常総会 14:00~16:00
- (2)UBAサミット 16:15~17:45
- (3)交流懇親会 18:00~20:00

なお、正式なご案内につきましては、詳細が決まり次第改めてご連絡いたします。

大切な“人財”に安心の退職金を!!

特定退職金共済制度のご案内

小 口
1,000円
から退職金
制度を確立

【制度の特長】

- ①退職金制度の確立は、従業員の確保と定着化をはかり、企業経営の発展に役立ちます
- ②この制度を採用することにより、中小企業でも安定した退職金制度が容易に確立できます
- ③月々、定額の掛金を支払うことにより、将来の退職金を計画的に準備できます
- ④事業主が負担するこの制度の掛金は、全額損金または必要経費に計上できます
- ⑤この制度は、勤労者退職金共済機構が実施する退職金制度(中退共)との重複加入が認められます
- ⑥この制度を採用することにより、法律で定められた退職金支払いのための保全措置が講ぜられます
- ⑦この制度は、高知県建設工事競争入札参加資格審査申請に必要な経営事項審査におけるその他の審査項目(社会性等)労働福祉の状況(W1)の加点対象となります

◆共済契約者(加入事業主)

高知県内に事業所を有する事業主。

◆被共済者(従業員)

事業主(共済契約者)と雇用関係にあり、加入日現在において満15歳以上満69歳以下の従業員。

なお、従業員全員を被共済者とする必要があります。

◆掛金

従業員1人につき1口1,000円から最高30口30,000円まで

掛金は従業員(被共済者)が退職する月まで毎月継続して納入する必要があります。

掛金は全額事業主(共済契約者)負担となります。

※詳細や加入お申し込みにつきましては、お気軽に下記までお問い合わせ下さい。

【この制度の掛金は、三井生命保険株式会社に運用を委託しています。】

お問い合わせ先

高知県中小企業団体中央会 共済推進室 TEL:088-845-8870

KUMIAI
110

[組合110番]

通常総会の招集手続きに関して、 次の点を教えてください

Q. 通常総会の招集に際しては、組合員に「決算関係書類等」や「監査報告書」のほか、「収支予算案」及び「事業計画案」も提供する必要がありますか

A. 法律上では、総会の招集手続きが省略されて開催される場合を除き、総会の開催案内とともに“「決算関係書類」及び「監査報告書」を提供しなければならない”とされていますので、「収支予算案」及び「事業計画案」まで事前に提供する必要はありません。ただし、法律では求められていない「収支予算案」及び「事業計画案」を組合が事前に提供することは差し支えありません。

(新しい中小企業組合制度への対応のための100問100答より)

中小企業・小規模事業者のみなさまの

成長と発展を
本気で応援!!



高知県信用保証協会

©光プロダクション



.com
BANK

あなたと未来を創る

金融機関から「金融サービス企業」へ・・・
真にお客様から信頼され、
お客様に有益な商品・サービスが
提供できるよう全役職員が
「意をひとつ」にして
取り組んでいます。

高知信用金庫

〒780-0822 高知市伊予町2丁目4番4号
TEL:088-882-2525 TEL FAX:088-882-1115

ドットコムバンク 検索



Pick Up!

先進組合

Advanced cooperative

※平成28年度組合資料収集加工事業報告書より

最新リージングマシン導入による共同事業の生産性向上

愛媛県繊維染色工業組合

〔所在地〕愛媛県今治市蒼社町2丁目1番4号〔TEL〕0898-32-0455
 〔組合員数〕9人〔設立〕昭和40年11月〔URL〕<http://www.senshokukumiai.com/>

■背景・目的

近年、今治産地では、タオルブランディングの成果やタオルメーカーの世代交代、中国タオルの輸入減少等が相まって、当組合の共同事業であるサイジング事業における生産性向上が大きな課題となっていた。最新設備に更新することで短納期の実現、作業員の負荷軽減、作業時間とロスの減少、高密度織物に対応していきたいと考えていた。

■事業・活動内容

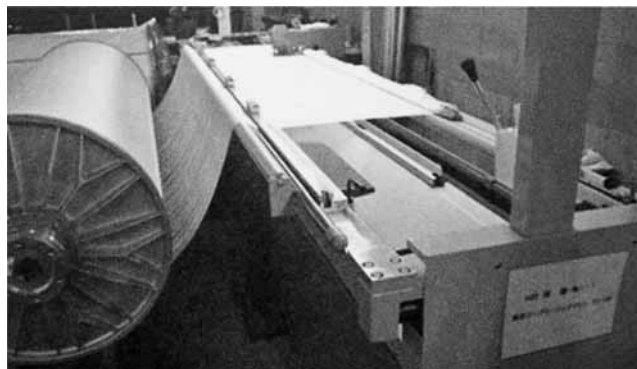
最新設備への更新には多額の資金が必要であり、当組合の財務的な負担が重くなるため、国の施策である「平成25年度補正中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業(ものづくり補助金)」に応募することとした。施策活用に向けた手続き・手順や提出物の準備等、認定支援機関の支援を受け、当組合の事務局が中心となって事業計画書を作成、提出書類を整備し、無事採択に至った。

平成27年2月に最新型のリージングマシン(藤堂製TC-700C)を2台導入・設置し、試運転を経て本格稼働している。1日平均12本の畦取り(例:経糸本数3,000本、幅250cm)を行う場合、従来機では1本あたり45分程度を要していたが、最新鋭の設備では20分程度で完了し、毎回、25分程度の時間短縮となった。さらに不具合発生による機械停止や調整にかかる作業員の負担軽減にも繋がり、従来機と比較して50%以上生産能力がアップし、加工量の増加に十分対応できるようになった。また、ガーゼ織物で利用される高密度織物の畦取りについても、老朽化した設備での品質維持が困難であったが、機械化による正確な畦取りによって品質を確

保でき、受注案件にも対応することができるようになった。本取組みにより、当組合における共同事業の生産性向上、タオルメーカーに対する取引力強化を実現することができた。

■成果

生産効率化により作業員の負荷が軽減され、新たな事業への時間投資が可能となった。機能性素材と綿を融合させた新しい織物の開発、極細番手によるアパレル向け用途への提案など、タオルメーカーの取組みに協力できる体制が整い、今後、他社との差別化による事業拡大を図っていく予定である。



BCP作成による地域の災害対応と企業力の強化

山梨県山碎石事業協同組合

〔所在地〕山梨県中巨摩郡昭和町西条5279〔TEL〕055-240-7311〔組合員数〕13人
 〔設立〕昭和57年11月〔URL〕<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/kumiai/saiseiki/>



■背景・目的

当事業は、地域の組合として、災害時に碎石業務が停止した場合、「復旧に何日要するのか」、「災害の程度ごとに何人の人員が必要なのか」といった事業継続のための方法や手段などを計画化することが目的である。また、経営改善や人材育成、

さらには企業の事業活動の承継に繋げていくこともねらいであった。

■事業・活動内容

推進体制の特徴として、事業に取り組む組合員が執行部ではなく組合員企業の後継者が参画したことにある。これにより、後継者が事業を承継した視点に立って、計画を作成、実施することが可能となる。意思決定プロセスとしては、理事長をはじめとする執行部で事業実行を決定し、事業リーダーである専務理事が中心となって事業を推進。事業展開の方法においても、中小企業の経営特性を鑑み、将来企業を担う後継者にとってBCPの作成そのものが有効であるとの専務理事の判断から、最初から組合全体で着手するのではなく、まず個別組合員企業で実行し、具体的な事例を作成、その後、組合全体で共有する流れをつくっている。

平成27年9月から10月末までの計4回、組合員次期経営者が自社の

事業所在地・製造プラント等を勘察して人的資源(ヒト)・物的資源(モノ・資金・情報・継続の要点)を考慮のうえ、具体的に事業継続計画を策定した。その後、組合全体で取組みを共有した。

策定にあたっては、山梨県中小企業団体中央会を通じて事業継続力強化支援事業を活用し、組合担当指導員とともに、専門家(佐藤雅信氏)のアドバイスを受けて、経営者自らの考え方による地に足のついたものとした。



■成果

組合員企業3社のBCPの作成及び組合員全体への情報共有といった当初目標は達成した。非常時における想定に基づく準備・整理ができたこと、さらには業務の把握、棚卸しと事業活動の承継に必要な要素が認識できたことが成果である。同業種や関連業界のみならず、他の業界からの反響もあり、BCP作成のきっかけとなっている。

平成29年度補正予算

「ものづくり・商業・サービス 経営力向上支援補助金」公募中

標記補助金は、足腰の強い経済を構築するため、日本経済の屋台骨である中小企業・小規模事業者が取り組む生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等の一部を支援します。

■応募申請

補助事業の実施場所（企業間データ活用型の場合：幹事企業の補助事業実施場所）に所在する都道府県地域事務局へ応募申請書類を郵送もしくは、中小企業庁が開設した支援ポータルサイト「ミラサポ」による電子申請（平成30年4月中旬開始予定）となります。

■対象要件及び事業の詳細等

公募要領をご確認ください。

■公募要領・応募申請様式等

高知県地域事務局ホームページ（<http://www.kbiz.or.jp/>）又は中小企業庁の支援ポータルサイト「ミラサポ」（<https://www.mirasapo.jp/>）に掲載しています。

＜お問い合わせ先＞【高知県地域事務局】 高知県中小企業団体中央会

〒781-5101 高知市布師田3992-2中小企業会館5階 TEL 088-845-6222

【公募期限】
平成30年
4月27日(金)
まで
※当日消印有効

協会けんぽからの保険料率改定のお知らせ

全国健康保険協会高知支部の加入者・事業主の皆さまへ

平成30年3月分（4月納付分）からの健康保険料率と介護保険料率に変更となります。
皆さまのご理解をお願い申し上げます。

給与・賞与の 10.18 % 平成30年2月分 (3月納付分)まで	健康保険料率	給与・賞与の 10.14 % 平成30年3月分 (4月納付分)から
給与・賞与の 1.65 % 平成30年2月分 (3月納付分)まで	介護保険料率	給与・賞与の 1.57 % 平成30年3月分 (4月納付分)から

※ 40歳から64歳までの方（介護保険第2号被保険者）には、健康保険料率に全国一律の介護保険料率が加わります。
※ 賞与については、支給日が3月1日分から変更後の保険料率が適用されます。

〒780-8501

高知市本町4-2-40 ニッセイ高知ビル

TEL 088-820-6010



全国健康保険協会 高知支部
協会けんぽ

メリット
1

通常の定期預金より
高めの金利設定
※当金庫内比較

メリット
2

固定金利の半年複利で
効率よく資産運用

メリット
3

ライフスタイルに合わせて
選べる期間1年・2年・3年
※原則として満期日前の解約はできません。

個人のお客さま向けの

定期預金

マイハーベスト

※詳しくは、店頭のチラシまたはホームページをご覧ください。

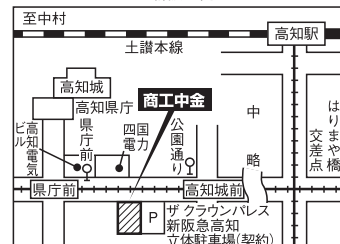


商工中金

高知支店 088(822)4481

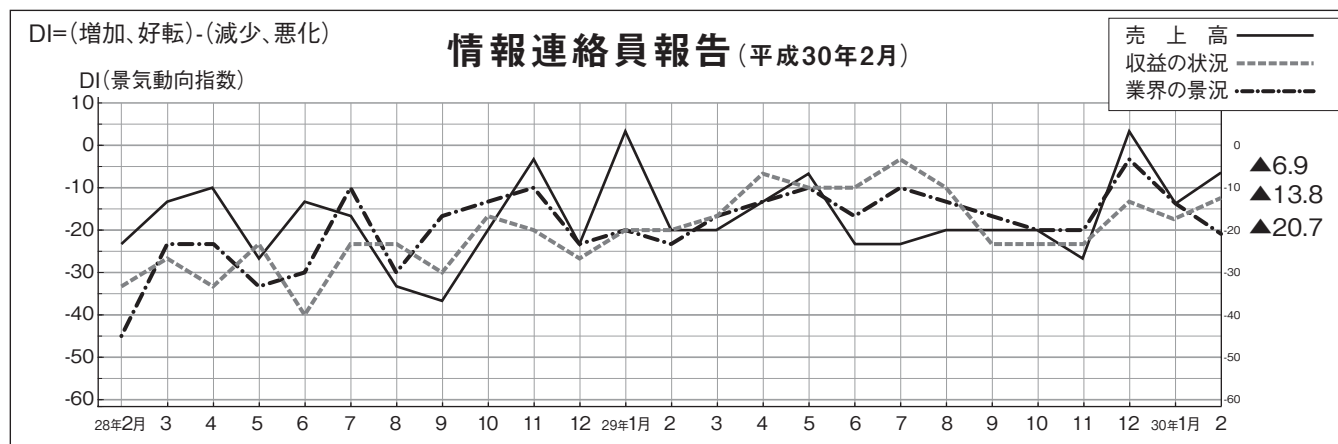
〒780-0870 高知市本町4-2-46

●ザ グラウンパレス新阪急高知並び



情報連絡員報告を中心とした 県内各業界別の動向

2018年2月(前年同月比)



業界の状況



食品団地

2・3月と食品業界は首都圏で商談会等が開催される。県外向け運賃の値上がりや3月から段ボール箱の値上がり等厳しい環境であるが、出展企業は成果が年々上がっており期待されている。

生コンクリート製造

当月の出荷数量は前年同月比79%と大幅な落ち込み。

酒類製造

先月と同様、県外出荷好調により特定名称は順調に増加。

コンクリート製品

出荷数量は前年同月比101%。当月の市況はやや回復したが累計では減少状況が続いている。

水産食料品製造

魚の入荷状況が相変わらず非常に悪い。在庫も少なくなってきて非常に心細い状況。

機械団地

製造品目や業種の違いにより、企業間で好不調のバツキが見られるものの、団地内は概ね横ばいで推移している。四半期毎の景況調査では、引き続き従業員や熟練技術者の確保難が経営課題の上位に挙がっている。

木製品素材生産

山間部の積雪によりスギ、ヒノキともに搬入量は3割減。価格はともに1割程度上昇となった。

刃物製造

受注はあるが供給が思うように出来ない。納期問合せが多く、納期がはっきりしないため、返事に苦慮している状態。

製材

原木が不足・値上がり状態であるが、需要の停滞で製品も不足気味ではあるが値上がりまでには至っていない。

船舶製造

引き続き高い操業度で推移している。

製紙

大手家庭紙メーカーの値上げが新聞紙上で発表された為、中小企業も値上げの機運となっている。国内品が値上げされると海外の安価品がより一層流入し、値上げが浸透しない可能性もある。

珊瑚装飾品製造

2月は年に1回の大会製品会が開催された。毎月の製品会では仕入れを控えている状況が、今年の大大会は県内外からの参加があり取引高は前年度同月比140%であった。

印刷

県内需要に関して官公需は前年並み、民需は昨年の観光がらみの特需を差し引いても低調。また県外需要も振るわず前年を下回る。

卸団地

サニーマートの物流センターの移転は、県内日配食品メーカーの物流に大きな変化を与えている。ルート上で納品を行っていた小口店舗への納品の取り止めが起こっている。依然採用難が続いている。

 青果卸売 近年にない異常な寒波の影響で野菜・果実ともに作柄の回復が大幅遅れ、結果1月と同様の相場水準となった。特に果実は入荷量が前年比で20%も減少に対して平均キロ単価は10%増にとどまり販売高は大きく落ち込んでしまった。	 商店街(四万十市) 全体的に前年度とほぼ同等と思われるが、売上は微減か。もともと閑散期である2月だが、近年にない雪の影響で客足がさらに鈍ったように思われる。3月は2月の反動に期待したい。
 生鮮魚介卸売 まぐろは近海物が例年通りあった。カツオの入荷量は少なかった。小物の底引き魚は順調に入荷した。	 旅館・ホテル 龍馬マラソン開催時期は好天、温暖の連休であったことで、活気と賑わいがあったが、前後は今冬の異常な寒さが起因し観光客の動きは鈍かった。
 各種小売(土佐市) 各商店とも変わりは無く、もう少し暖かくなればお客様に動きがでてくるとこれからに期待している。	 旅行業 組合クーポン売上は前年同月比131%、今年度の総売り上げは前年比92%。全国大会開催によるクーポン利用により過去最低の売上は免れた。
 ガソリンスタンド 米国発の株暴落を受けて原油価格は下落、ドバイ原油は一時的に1バレル当たり60ドルを割り込みこの影響で元売り仕切価格はほぼ2年ぶりの値下げ。全国市況価格はこれまでの転嫁不足を解消するため据置を維持、本県も同様に据置の市況価格となった。	 一般土木建築工事 平成30年2月分の公共用土木生コン出荷量は前月比94.2%、前年同月比73.8%。平成29年4月～30年2月の累計は前年比79.3%と落ち込んでいる。防波堤など大型工事や耐震・防災関連工事は引き続き発生している。
 電気機械器具小売 2月は全体で101.2%、白物家電・エアコン114%、テレビ91.7%、全自動洗濯機105.2%。	 電気工事 組合員の施工する電力引込線関連の工事量は前年同月比107%となった。少しずつ良化しているのでこの傾向が続くことを期待したい。
 中古自動車小売 2月は組合員にて売上の良いところとそうでないところのバラツキが見られ、相対的には変わりなく低調なまま。	 一般貨物自動車運送 組合事業は前年比を若干上回った。2月は燃料価格が値下げとなって一息つけたものの、依然として高値で推移しており組合員は厳しい状態である。
 商店街(安芸市) 2月は阪神タイガースのキャンプが行われ、球場周辺は多くの人で賑わったが、商店街への影響はあまりないようであった。	 タクシー 実働1日1車当りの前年同月比営業収入:100.4%、輸送回数:100.4%。当月の実働率は66.8%。
 商店街(高知市) 中央公園地下駐車場利用状況は前年比売上げが107.2%、台数が106.0%。先月後半からの寒波とインフルエンザ流行で来街者は若干減少するものの、旧リブロード跡地へのホテルに続き、新店舗が入居するなど「まち」が動くことへの期待感はある。	

		あなたの挑戦のそばに 三井住友海上はいつもいます。		
	安心のゴールキーパー 		 クルマの保険  すまいの保険  ケガの保険	
		立ちどまらない保険。 MS&AD 三井住友海上 www.ms-ins.com		

 MS&AD インシュアランスグループはサッカー日本代表を応援しています。 ©2016 adidas Japan K.K. adidas, the 3-Bars logo and the 3-Stripes mark are trademarks of the adidas Group.

経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。

BESTパートナー
三井生命



従業員のための 退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、
安定した退職金準備が
できる共済制度です。

特定退職金共済制度 引受保険会社
三井生命保険株式会社



経営者・従業員のための 万一の保障 団体扱生命保険

団体扱* (月払)の場合、
一般扱 (口座振替月払等) で
ご契約いただくよりも、
保険料が割安になります！

オーナーズプラン

経営者の
各種リスクマネジメントのために

パートナーズプラン

役員・従業員の皆さまの
保障準備をサポート



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる
従業員さまのケガなどのリスクを
カバーする保険です。

業務災害補償保険 引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社
業務災害補償保険 取扱代理店
三井生命保険株式会社



* 団体扱とは、高知県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込み
いただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い
込む取り扱いのことです。

※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記まで
お問い合わせください。

※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあ
たっては、「設計書 (契約概要)」「特に重要な事項のご説明 (注意喚起
情報)」「ご契約のしおりー約款」および高知県中小企業団体中央会
の「退職金共済規程 (規約・規則)」等を必ずご覧ください。

三井生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の取
扱代理店として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

三井生命保険株式会社 高知営業部

〒780-0053 高知県高知市駅前町 1-8 第7駅前観光ビル 2F TEL:088-882-3402

<http://www.mitsui-seimei.co.jp/>

三井-KB-2017-15 (損保)B-2017-3 (2017.4)
B-2017-1044 (2017.4) 使用期限 2018.3.31

制作・発行 [高知県中小企業情報 706号]

人を継ぎ、組織を育む

 高知県中小企業団体中央会
<http://www.kbiz.or.jp>

〒781-5101 高知市布師田3992-2 中小企業会館4階
Tel.088-845-8870 Ip.050-3537-1702 Fax.088-845-2434
E-mail : info@kbiz.or.jp